

連載

株式評論家 山本伸一の

兜町スタンダード



個人投資家と低位材料株との関係

先週、弊社で販売、提供した恒例企画の『厳選5銘柄付きレポート』。テーマは「仕手系色の強い低位材料株」としたが、思いのほか販売が好調だったことに驚いている。

確かに、低位材料株が賑わう傾向のある「今の時期」を狙って投入したテーマだったが、販売開始直後に「リビアでの反政府デモ激化」など、波乱発生とともに投資マインドも冷え込んでいたものの、想定を覆す販売数を記録した。

さらに、新規の問い合わせも増加。従来では、業績アップローチや株式市場で賑わう期待のある時流のテーマを強く打ち出しているだけに、繊細な「仕手系色・低位材料株」というキーワードを示すことに一抹の不安もあったが、違った一面を打ち出すことで新たな顧客支持を獲得したようだ。

配信後は想定通りに注目銘柄ほか、低位材料株が賑わいを見せた。ただ、顧客からの「次なる低位材料株」を望む声には困惑している。前述したように、あくまでも『今の時期』を狙ったもので、言わば賞味期限のある「期間限定」の投資対象だ。一年中、投資対象を低位材料株に囚われるのは「適切」ではない。

そこで、個人投資家の意識改革を促す意味で資料セット「株式投資見直し術」を作成した。投資スタイルを変えたい方は弊社に直接問い合わせしてほしい。